

- 新型コロナウイルスによる「新たな日常」への適応やカーボンニュートラルを始めとするグリーン成長の実現には、**イノベーションの創出**が不可欠。
- このため、**重点分野（グリーン、デジタル、バイオ・医療）への投資等によりイノベーションを促進**するとともに、**自律的かつ連続的にイノベーションが生まれ出されるエコシステムを構築**する。
- 経済安全保障**も喫緊の課題であり、**我が国経済構造の自律性向上や、日本の技術の優位性ひいては不可欠性の確保**に向け、**中長期的な重要技術の研究開発支援等**の取組を進めていく。

《 I 重点分野におけるイノベーションの加速 》

1. グリーン（エネルギー・環境）

蓄電池の国内製造基盤の確保のための先端生産技術導入・開発促進事業

令和3年度第1次補正予算額：1,000億円

先端的な蓄電池・材料の生産・リサイクル技術を用いた大規模製造拠点を国内に立地する事業者に対し、建物・設備や、生産技術等に関する研究開発の費用を補助する。

カーボンニュートラル促進のための国際標準・認証拠点整備事業

令和3年度第1次補正予算額：138.3億円

蓄電池分野及びパワーコンディショナーにおける、日本発の国際標準提案、国際標準に基づく認証取得を促進するため、NITEと産総研に安全性や性能の評価が可能な施設を整備する。

CCUS研究開発・実証関連事業

令和4年度予算案額：82.3億円
(令和3年度予算額：60.3億円)

2030年のCCS事業化に向け、苫小牧CCUS拠点におけるCO₂長距離輸送実証の本格化やCO₂貯留技術の研究開発を行う。

産業活動等の抜本的な脱炭素化に向けた水素社会モデル構築実証事業 等

令和4年度予算案額：152.2億円
(令和3年度予算額：139.8億円)

2030年を見据えた、工場・港湾等での水素社会モデルの構築実証を行う。

安全性向上等に資する革新的な原子力イノベーション事業

令和3年度第1次補正予算額：20億円

2050年カーボンニュートラルのための原子力オプションの確保、革新炉導入を視野に軽水炉の安全技術開発を行いつつ、小型モジュール炉、高温ガス炉、高速炉、核融合等の革新炉の技術開発を実施する。

※さらに、**2050年カーボンニュートラルを見据え**、国が掲げた高い目標に向かって、長期にわたる研究開発・実証事業や、技術の社会実装にコミットする企業等に対し、**10年間で2兆円規模の「グリーンイノベーション基金（令和2年度第3次補正予算）」**を活用して、**大規模かつ継続的に支援**し、官民総力を挙げて取り組む。

2. デジタル

ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業

令和3年度第1次補正予算額： 1,100億円
(令和2年度第3次補正予算額： 900億円)

ポスト5G情報通信システムや、同システムで用いられる半導体等の関連技術や、先端的なロジック半導体の製造技術等の開発を行う。

高効率・高速処理を可能とするAIチップ・次世代コンピューティングの技術開発事業 等

令和4年度予算案額： 122.7億円
(令和3年度予算額： 120.7億円)

民間企業等が持つAIチップのアイデアの実用化に向けて、開発に必要な設計ツールや知見・ノウハウ等を提供するとともに、次世代コンピューティング等の実現に向け、ハードとソフトの一体的な技術開発等を実施する。

3. バイオ・医療

次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 等

令和4年度予算案額： 219.1億円
(令和3年度予算額： 214.3億円)

合成生物学の産業化推進のため、バイオ医薬品の創薬技術・製造技術の開発やバイオモノづくり拠点の整備、生物資源データプラットフォームの整備等を支援する。

創薬ベンチャーエコシステム強化事業

令和3年度第1次補正予算額： 500億円

創薬ベンチャーが必要とする開発資金の供給源不足を解消するため、創薬に特化したハンズオン支援を行う認定VCが出資することを要件に、実用化開発を行う創薬ベンチャーに必要な開発資金の2/3を補助する。

4. 経済安全保障

経済安全保障重要技術育成プログラム

令和3年度第1次補正予算額： 1,250億円

経済安全保障の確保・強化のため、我が国の経済安全保障上のニーズを踏まえ、その実現に必要な先端的重要技術を育成するとともに、公的利用につながる社会実装を目指すための新たなプログラムを創設する。また、運用に当たっては、技術を「守る」観点から、個別の技術特性や成熟度等に応じ適切な技術流出対策を講ずることとする。

ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業

令和3年度第1次補正予算額： 2,274億円

平時はバイオ医薬品を製造し、有事にワクチン製造へ切り替えられるデュアルユース製造拠点に係る設備投資費用の9/10を補助する。また、医薬品製造に必要な部素材の製造拠点等の整備に係る設備投資費用の3/4（大企業は2/3）を補助する。

《Ⅱ イノベーションエコシステム強化とその基盤の整備》

研究開発型スタートアップ支援事業 等

令和4年度予算案額： 25.8億円
令和3年度第1次補正予算額： 33.5億円
(令和3年度予算額： 21.4億円)

技術イノベーションの担い手となる研究開発型のスタートアップに対して、シード期から事業化・社会実装に至るまで成長フェーズに応じた支援を行い、エコシステム構築に不可欠である成功モデルの創出を図る。

地域のイノベーション創出を促すための国の研究開発に係る機関や地域の中核大学の拠点整備

令和3年度第1次補正予算額： 208億円

地域に眠る技術を開花させるため、産総研の地域センターや、特定分野で強みを持つ地域の中核大学のイノベーション創出機能を強化する。

官民による若手研究者発掘支援事業 等

令和4年度予算案額： 21.7億円
(令和3年度予算額： 21.2億円)

官民が協調して博士人材等の若手研究者のシーズを発掘し、産学連携プロジェクト形成の支援や民間企業との共同研究等への支援を実施する。

戦略的国際標準化加速事業 等

令和4年度予算案額： 48.6億円
(令和3年度予算額： 46.5億円)

我が国の新技術をいち早く社会に実装し、革新技术を世界的に普及・促進するため、技術に係る標準について、国内外でのルール化及び展開を促進する。

国立研究開発法人産業技術総合研究所運営費交付金

令和4年度予算案額： 614.8億円
(令和3年度予算額： 619.8億円)

産業技術の幅広い分野における研究開発を総合的に実施する国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）の運営費交付金。